

記入例

高等教育の修学支援新制度 申請状況等確認表

1. 日本学生支援機構の奨学金に関して当てはまるあなたの状況にチェックをつけてください

条件	対応事項
<input type="checkbox"/> A 既に給付奨学生として認定されている(現時点で採用廃止となった方も含む) B 本学入学前に在籍した大学でこの給付金を受給していた	回答終了
<input checked="" type="checkbox"/> C 新たに給付奨学金を申請する予定である or これまで申請したことはない D 申請要件を満たせず申請できなかった or 申請したが不採用だった	次へ

【1. でCまたはDを選んだ方】

2. 給付型奨学金及び新制度の申請要件について、いずれかに該当する場合は□にチェックをつけてください

① 国籍について

- 日本国籍を有する
外国籍で在留資格が特別永住者・永住者・日本人の配偶者・永住者の配偶者・定住者である

② 大学までの進学年数

0 年 0 ヶ月



高校・高専・短大等の卒業年月 2023 年 3 月
本学の入学・編入年月 2023 年 4 月

- 高校等の卒業から本学入学までの期間が2年を超えていない(編入学生は1年を超えていない)
 高校卒業程度試験の合格者で、給付奨学金の「大学への入学時期等に関する資格」に該当する
外国の学校教育における12年の課程を修了した者等で、給付奨学金の「大学への入学時期等に関する資格」に該当する

③ 収入要件について

- 日本学生支援機構のホームページにある「進学シミュレーター」の「給付奨学金シミュレーション(保護者の方向け)」により、
本人及び生計維持者(父母)の収入額で試算したところ、「満額の支援」・「2/3の支援」・「1/3の支援」・「1/4の支援」と表示された
※上記に該当する場合は「給付奨学金シミュレーション(保護者の方向け)」の結果を印刷して提出
「進学シミュレーター」 <https://shogakukin-simulator.iasso.go.jp/>

④ 資産要件について

- 生計維持者(父母)の資産(預貯金及び有価証券)の金額が2,000万円(父母が1名の場合は1,250万円)を超えない

⑤ 学業成績について

- 2025年4月時点で、修得した単位数が標準単位数(※)より多い
※標準単位数 = 卒業に必要な単位数 ÷ 修業年限 × 申請者の在学年数(休学期間を除く)又は各学年の進級要件を満たす

⑥ 修業年限について

- 休学期間を除き、修業年限以内に卒業が可能である(成績不振により留年となったことがない)

【上記①～⑥に回答した方】上記の結果をもとに、以下の事項に対応してください

結果	対応事項
A 上記の2の①～⑥のすべてに該当する項目がある	所定の期限までに日本学生支援機構の給付奨学金の申請手続きを必ず完了させてください
B 上記の2の①～⑥のうち該当しない項目がある	-

学生番号
Student number

○○○○○○○